

東京大学東洋文化研究所
附属東洋学研究情報センター

平成12年度事業報告

東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター

設 立 平成 11 年 4 月 1 日
所在地 〒113-0033
東京都文京区本郷 7-3-1
電 話 03-5841-5839
FAX 03-5841-5898
URL <http://www.info.ioc.u-tokyo.ac.jp/>

現状と課題（平成 12 年度）

はじめに

東洋学研究情報センターは、東洋学文献センターに代わる東洋文化研究所の附属施設として、1999年4月1日に新設された。研究情報センターは、「アジア資料学」という研究分野を確立することを目的とし、具体的には、アジア研究のための資料を組織的に蓄積しデータベース化すること、および資料そのものの性格について研究することを任務としている。センターの研究分野は造形資料学分野と比較文献資料学分野とから構成され、その陣容は、造形資料学分野担当の教授・助教授各1と、比較文献資料学分野担当の教授・助教授各1に、それらを補佐する助手1、さらにセンター教官と協力してプロジェクトを推進する客員教授1からなる。

設立初年度に当たる平成11年度は、機器類の購入を行い、アジアに関するデータベースの構築に着手したが、平成12年度は、データベース構築の本格的な推進と、成果の公開・発信のための体制の整備を中心に事業を進めてきた。またデータベースを企画し作成する作業そのもの、及び班研究会における討論を通じて、アジア資料学という研究分野を切りひらく試みを続けた。平成12年度における事業計画は、次のとおりであった。

1. 資料の収集・蓄積
2. デジタル・アーカイブの構築
3. 成果の公開・発信

- (a) データベースの公開
- (b) アジア・デジタル展示館
- (c) 出版
 - 『明日の東洋学』
- (d) 講習会
 - 漢籍整理長期研修
- (e) 5センターセミナーの開催

平成13年度においても、12年度の経験を踏まえ、検討の上諸事業を実施する方針である。

A 人員・施設

1. 教職員

研究情報センター長	教授（併任）	原 洋之介
研究情報センター主任	教授	中里 成章
	教授	宮脇 博史
	助教授	板倉 聖哲
	助手	鈴木 隆泰
	客員教授	深見奈緒子
業務掛	掛長	佐々木郁子

2. 施設

現在面積

教官室・・・・・24平方メートル	事務室・・・・・64平方メートル
作業室・・・・・48 "	マイクロ撮影室・・・・・24 "
倉庫・・・・・24 "	
	計・・・・・184 "

B 本年度実施状況

1. 資料の収集・蓄積

平成12年度の受入数は、図書254冊（和漢書）、新聞の現物13種（継続）である（受入新聞一覧については14頁を参照されたい）。また朝鮮・韓国の族譜を105点購入し、上海図書館との族譜資料の交換のために、マイクロフィルムの複製を作った。

図 書		マイクロフィルム	
和漢書	15,368 冊	ネ ガ	986 リール
洋 書	792 冊	ポ ジ	3,522 リール
計	16,160 冊	計	4,508 リール

2. デジタル・アーカイヴ

データベース・プロジェクトの進行状況は次の通りである。ウェブ上で公開してあるものに（☆）、科研費が付いているものに（※）を付した。

(a) 重点プロジェクト

(1) 東アジア族譜データベース

東アジアで作成された族譜を収集し、データベース化する。

本年度行った作業は以下の通りである。

1. 研究所所蔵の朝鮮・中国族譜の目録作成とデータベース化
2. 本研究所所蔵の中国族譜のマイクロフィルム複製作成（上海図書館との資料交換のため）
3. 韓国・慶尚北道醴泉地域の族譜「咸陽朴氏族譜」「安東権氏野翁公派譜」の全内容の入力、および「慶尚道醴泉郡庚子改量田案」の入力

(2) 中国絵画デジタル・アーカイヴ（※）

東洋文化研究所が長年にわたって収集してきた中国絵画の焼付写真20万点のデータベースを作成する。準備作業として書誌データの整理を進めており、研究所が刊行した『中国絵画総合図録』正編部分を終了した。引き続き続編部分の整理を行っている。また写真のデジタル化を進めている。

(3) 倉石文庫漢籍のデータベース作成

倉石文庫の漢籍は、全部で約4300部あり、a) データシート作成、b) 入力、c) 校正という3段階の手順で整理するが、平成12年度においては以下の作業

を完了した。

経部：c段階完了。データを Web サイトで試験中。

史部：b段階完了、c段階未着手。データを Web サイトで試験中。

子部：b段階完了、c段階未着手。データを Web サイトで試験中。

集部：a段階完了、b段階未着手、c段階未着手

集部が数量としては全体の半数ほどであり、まだ叢書の部が残っているので、進行状況としては、全体のほぼ 50%程度ではなかろうかと思われる。

(4) インド・イスラーム史跡資料データベース (☆)

東京大学インド史跡調査団の 4×5 サイズの白黒ネガフィルム約 3000 枚のデジタル化を完了し、写真を文章と図面と結びつけたヴィジュアルな紹介用のホームページを作成し、ウェブ上で公開した。約 4 分の 3 占めるデリーの写真については、検索ページを作成したので、今後ホームページへ掲載の予定である。また、英文ホームページを作成すべく準備中である。

(5) 内蒙古出土学術資料のデータベース化

オロン・スム出土資料 1866 点および百霊廟凹地墳墓出土資料 45 点の、洗い、接合関係の確認、登録を終了した。また、オロン・スム出土の陶器 1 点 (甕)、磁器 1 点 (皿) を石膏を用いて完形に復原した。現在はデジタルカメラによる撮影と法量の計測を平行して行っており、オロン・スム出土の瓦 234 点について作業を終え、コンピュータによるデータの検索ができるかたちにした。

(b) 試行プロジェクト

(1) 東洋文化研究所所蔵中国雑誌目録の作成とデータベース化

平成 12 年度は、第一年度にあたり、まずデータベース化を進めるための以下のような準備作業を行った。a) データ入力方式と設定の研究と決定、b) 図書室目録カードのコピー、c) 所蔵雑誌現物との照合。

a) については、データに簡体字と繁体字が入り交じっているため、ユニコードに対応した GBK のキャラクターセットとフォントを使用することにし、その入力を可能にするために、OS は Windows2000 を使用し、ソフトは Microsoft Access を使用することにした。また、入力の項目は後に情報学研究所の雑誌データに導入しやすいように工夫した。b) コピー対象カードは総数 8000 枚ほどであるが、これは完了した。c) については、発行年や発行所などのデータ (時に途中で変更がある) 等も含めて照合を始めた。入力の条件を整備するのに労力と時間を取られたが、現在までのところ、600 件のデータが入力済みである。

(c) 一般プロジェクト

(1) 近代朝鮮関係日本語図書所在データベース (☆)

平成12年度は京都大学所蔵分の追加入力を行った。

(2) 建築・美術資料の構成・分析プロジェクト

画像データベースの基礎となる写真資料の書誌データの整理、並びにデータ構造の検討を行っている。継続中で、現在続編部分の焼付を整理している。

(3) 多言語文字資料画像化プロジェクト

画像データベース作成のための書誌データの内、外国語部分のデータのチェックを担当している。継続中で、現在続編部分の新項目について行っている。

(4) 造形資料データベース化プロジェクト

画像データベースの基礎となる写真資料（焼付及びスライド）の整理に従事する。継続中で、現在近年調査分の焼付を整理している。

(5) 東京大学東洋文化研究所漢籍目録データベース（☆・※）

平成10年度から始めた漢籍目録のデータベース化は、平成12年度は約1万5千件を入力し、平成12年度末までに当初の目標どおり冊子体『漢籍目録』分をすべて入力した。

(6) 現代中国書データベース（☆）

12年度入力の2456点を含めて、本研究所蔵現代中国書データベース（1912から1994年受入分）（GBコード）計46,018点をCD-ROM1枚に収録し、国立情報学研究所総合目録データベースに提供した。なお国立情報学研究所のシステムによる全国サービスが行われる迄、本データベースは従来通り本センターにより公開サービスされる。

(7) 人文研・東文研漢籍目録人名索引データベース

28,540点を入力し、完了した。本データベースは、当初、東洋学文献センター叢刊別輯1の改訂を目的としたが、その後、インターネットによるサービスをめざした。国立情報学総合目録データベースが漢籍を含めて完成するまでは、本データベースの共同作成者である人文研有志と協議の上、公開の予定である。

(8) 中国近現代文学関係雑誌記事データベース（☆・※）

中国現代文学関連の研究誌を中心にした研究文献データベースで、重要雑誌の文献情報を原物をチェックしながら中国語文字（GBコード）で入力している。平成12年度は科学研究費補助金（成果公開促進費）220万円を受領し、以下の成果をあげた。

新規入力コード数：7,600件（テキストで1.1MB）

総計レコード数：16,000件（テキストで2.3MB）

(9) ヒンドゥー儀礼研究基礎資料作製データベース

この一年間で中心的に情報を収集したヒンドゥー儀礼は以下のものである。サ

ーラスヴァータ・サットラ、マハーヴラタ、牧畜儀礼、農耕儀礼、溜池完成儀礼、女神崇拜儀礼。シャークタ派のウパプラーナおよびタントラ文献に関する研究情報もかなり蓄積された。

(10) ミティラー地方の低カーストの儀礼の歌

ミティラー地方の農村のイスラーム教徒が歌う結婚の歌とマルシアの歌の入力を行った。また、ヤーダブ・カーストに属するとされるダークなる人物に帰されている、農事関係の諺集「ダーク・ヴァチャナーヴァリー」の3種類のテキストを入手。また、同地方の農村で500程の諺を収集し、随時入力中。

(11) 国内所蔵南アジア関係写本のデジタル化に向けて

南アジア関係写本、主としてサンスクリットとチベット語で書かれた写本を収蔵する複数の大学の研究者達に打診し、基本的に同意をえた。しかし、それぞれの大学によって状況が異なり、また、所有権の問題などもあり、デジタル化に向けて具体的にどのような作業を行うことができるかを模索中。

(12) Tibetan-Sanskrit 構文対照電子辞書構築の基礎データ収集と整理及び基礎データの応用に関する実験 (☆)

1. 基礎データ収集と整理

第2章・第6章・第7章・第17章・第21章を完了、第8章を整理中

2. 基礎データの応用に関する実験

「Mvyut. を用いた単語の推定実験」の精度向上を目的とした、Mvyut 辞書内容の品質向上に関する作業を実施

(13) 西アジア・データベース形成のための基礎研究 (※)

資金源としては、日本学術振興会科学研究費基礎研究Bにより、本研究所所蔵のアラビア語・トルコ語・ペルシア語文献についての書誌データのコンピュータ入力を行い、データベース化のための基礎作業をほぼ完成し、フォーマット等は東洋文庫と協力し共通化をめざした。この作業の成果のうち、本年度は、アラビア文字表記のトルコ語であるオスマン語逐次刊行物についての仮目録を作成することを得た。

(14) 歴史都市イスファハーンに関する総合的データベース

今世紀初頭のイスファハーンの地図をデジタル化し、その上に記載された詳細な地名、建物名、街路名などをデータ入力する作業が行われた。地図のデジタル化、地名、建物名の入力は終了し、現在街路名の入力が進んでいる。

また、1950年代のイスファハーンの航空写真をデジタル化した。

(15) 17世紀ヨーロッパ人によるペルシア旅行記のテキストデータベース

長期に亘る計画だが、最初に、シャルダンのペルシア旅行記全10巻(181

1年刊行)のテキスト・データベース作成を進めている。今年度は、10巻中ほぼ半分の5巻の入力を終えた。来年度で完了し、公開する予定。

(16) 戦後日本政治・外交データベース (☆・※)

(17) データベース20世紀年表 (☆)

3. 公開・発信

(a) データベース公開

「インド・イスラーム史跡資料データベース」はテスト版をウェブ上で公開中である。なおその他のデータベース・プロジェクトのうち、公開済のものには上記項目2のリストに☆印を付した。

(b) データの提供・交換

「現代中国書データベース」のデータはCD-ROMに収録し、国立情報学研究所総合目録データベースに提供した。

「近代朝鮮関係日本語図書所在データベース」については、学習院大学東洋文化研究所とデータ交換に関する協定を結んだ。韓国精神文化研究院からも同上データベース情報提供の申し入れがあり、現在検討中である。

(c) アジア・デジタル展示館

今年度は「東洋文化研究所所蔵古籍線装書」を開設し、貴重書の一部を一般公開した。さらに「宋版『史記』」についてはイントラで全頁公開しており、これについても一般公開を検討中である。また、既出の「インド・イスラーム史跡資料データベース」はここにおいて試験公開中である。

(d) 出版

ニューズレター『明日の東洋学』第4～5号を刊行した。さらに第1～5号のPDFファイルをウェブ上で配布している。

(e) 漢籍整理長期研修

平成12年度は6月26日～10月6日に実施し、6名が受講した(日程及び受講者名簿は12～13頁を参照されたい)。また漢籍のみならず、朝鮮・南アジア・西アジアの文献に関する講義も行った。

なお平成13年度から、この研修の一部を人文社会系研究科文化資源学専攻の授業として扱うことが決まった。

(f) 平成12年度全国文献・情報センター人文社会科学学術情報セミナー

本年度は当センターが当番校で、「アジア情報学のフロンティア」をテーマとして、11月20日～22日に学術総合センターで開かれた。本センターは「造形資料学のフロンティア」のセッションに参加した。

4. 平成12年度全国文献・情報センター長会議

今年度は法学部附属外国法文献センターが当番校で、11月17日（金）に法学部4号館で開催された。

C 来年度

平成13年度もアジアに関するデータベースの構築と、そのインターネット公開を中心に事業を進める計画である。データベース・プロジェクトは、造形資料については、「中国絵画デジタル・アーカイヴ」と「インド・イスラーム史跡資料データベース」、文献資料については、「東アジア族譜データベース」、「倉石文庫漢籍のデータベース作成」及び「東京大学東洋文化研究所漢籍目録データベース」を軸に推進する。完成したデータベースは順次ウェブ上で公開してゆく予定である。

また平成13年度から、東洋文化研究所が所蔵する貴重書のデジタル画像化を開始する計画である。刊行物も、『明日の東洋学』と同様に、デジタル化してウェブ上で公開することを検討している。

データベース、貴重書の画像ファイル、刊行物をデジタル化したファイル、アジア・デジタル展示館を結合させ、造形・文献両資料にまたがる「デジタル・アーカイヴ」に発展させていくことを構想している。

なお平成13年度から、漢籍整理長期研修の一部が人文社会系研究科文化資源学専攻の院生を対象とした集中講義にあてられることが決まっている。長年続いてきた漢籍講習が新しい段階に入ることになる。

資料の収集・蓄積については、族譜と新聞の収集を継続する予定である。

センターの課題としては競争的経費の獲得がある。積極的な事業展開を行うにはセンター校費では不十分なので、データベース化事業やアジアにおける資料調査のための科研費の申請を続けるつもりである。

センターの将来計画としては、旧センター時代の東アジアを中心とした資料蓄積の遺産を継承しつつ、さらに西アジア、東南アジア、南アジアをも含んだアジア全域にわたる造形・文献資料の収集・蓄積、データベース化を進める必要がある。このような資料蓄積に対応しよう、既に狭隘化しているセンターのスペースを拡大することは緊急の課題である。さらに、研究方法や資料公開の方法の類似している東大内外の機関との間で、共同でできるプロジェクトを企画し、その実施を図ることも重要な課題となっている。

東京大学東洋文化研究所東洋学文献センター叢刊既刊一覧

- 第1輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和41年度）1968.
- 第2輯 清代地方劇資料集（一）1968.
- 第3輯 清代地方劇資料集（二）1968.
- 第4輯 周揚著訳論文・周揚批判文献目録 1969.
- 第5輯 郁達夫資料 1969.
- 第6輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和42・43年度）1970.
- 第7輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（上）1970.
- 第8輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（中）1970.
- 第9輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（下）1970.
- 第10輯 李大釗文献目録 1970.
- 第11輯 明刊元雜劇西廂記目録 1970.
- 第12輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇・編著者名索引 1970.
- 第13輯 魯迅全集注釈索引 1971.
- 第14輯 1930年代中国文芸雑誌（一）1971.
- 第15輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（1）1972.
- 第16輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（2）1972.
- 第17輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（3）1972.
- 第18輯 郁達夫資料補篇（上）1973.
- 第19輯 切韻殘卷諸本補正 1973.
- 第20輯 目録学 1973.
- 第21輯 花間集索引 1974.
- 第22輯 郁達夫資料補篇（下）1974.
- 第23輯 仁井田陸博士輯 北京工商ギルド資料集（一）1975.
- 第24輯 江西蘇区文学運動資料集 1976.
- 第25輯 仁井田陸博士輯 北京工商ギルド資料集（二）1976.
- 第26輯 民国以来人名字号別名索引 1977.
- 第27輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（一）1978.
- 第28輯 仁井田陸博士輯 北京工商ギルド資料集（三）1978.
- 第29輯 中国左翼文芸理論における翻訳・引用文献目録 1978.
- 第30輯 仁井田陸博士輯 北京工商ギルド資料集（四）1979.
- 第31輯 儀礼疏放正（上）1979.
- 第32輯 儀礼疏放正（下）1979.

- 第33輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（五）1980.
- 第34輯 小説月報（1920-1930）総目録 1980.
- 第35輯 コミンテルン定期刊行物 中国関係論説・記事索引 1981.
- 第36輯 魯迅文言語彙索引 1981.
- 第37輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（二）1981.
- 第38輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（三）1982.
- 第39輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（六）1983.
- 第40輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目録・解説（上）1983.
- 第41輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（四）1983.
- 第42輯 校合本 大越史記全書（上）1984.
- 第43輯 『植民地雑誌』（Koloniaal Tijdschrift）所収論文目録 1984.
- 第44輯 校合本 大越史記全書（中）1985.
- 第45輯 江西蘇区紅色戲劇資料集 1985.
- 第46輯 宋之間詩索引 1985.
- 第47輯 校合本 大越史記全書（下）1986.
- 第48輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目録・解説（下）1986.
- 第49輯 許舒博士所輯 広東宗族契拋彙録（上）1987.
- 第50輯 沈佺期詩索引 1987.
- 第51輯 中華人民共和国・朝鮮民主主義人民共和国 職官歴任表 1987.
- 第52輯 韓国政治エリート研究資料 -職位と略歴- 1987.
- 第53輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（五）1988.
- 第54輯 許舒博士所輯 広東宗族契拋彙録（下）1988.
- 第55輯 南嶽思大禪師立誓願文索引 -六朝隋唐宗教・思想資料- 1988.
- 第56輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（六）1988.
- 第57輯 郁達夫資料総目録附年譜（上）1989.
- 第58輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（七）1989.
- 第59輯 郁達夫資料総目録附年譜（下）1990.
- 第60輯 山西票号資料 書簡篇（一）1990.
- 第61輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（八）1990.
- 第62輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目（九）1991.
- 第63輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目収載雑誌名索引
1992.
- 第64輯 許壽裳日記（自1940年8月1日至1948年2月18日）1993.
- 第65輯 許舒博士所蔵商業及土地契約文書 乾泰隆文書（1）1995.

- 別輯1 東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録（書名・人名索引）
京都大学人文科学研究所漢籍分類目録（書名・人名通檢） 合併 四角號碼檢字表 1975.
- 別輯2 海外所在中国絵画目録（アメリカ・カナダ編）1977.
- 別輯3 海外所在中国絵画目録（東南アジア・ヨーロッパ編）1981.
- 別輯4 日本所在中国絵画目録（寺院編）1982.
- 別輯5 LABRANG 李安宅の調査報告 1982.
- 別輯6 日本所在中国絵画目録（博物館編）1982.
- 別輯7 日本所在中国絵画目録（個人蒐集編）1983.
- 別輯8 中国経済関係雑誌記事総目録（一）－『中外経済周刊』『経済半月刊』『工商半月刊』－ 1983.
- 別輯9 孟郊詩索引（上）1984.
- 別輯10 孟郊詩索引（下）1984.
- 別輯11 中国経済関係雑誌記事総目録（二）－『国際貿易導報』－ 1985.
- 別輯12 中国経済関係雑誌記事総目録（三）－『中行月刊』－ 1985.
- 別輯13 『内務行政雑誌』所収論文・記事目録（A Catalogue of the Articles in Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur）1985.
- 別輯14 中国経済関係雑誌記事総目録（四）－『銀行週報』（上）－ 1987.
- 別輯15 春秋晋国『侯馬盟書』字体通覧－山西省出土文字資料－ 1988.
- 別輯16 中国経済関係雑誌記事総目録（五）－『銀行週報』（下）－ 1989.
- 別輯17 海外所在中国絵画目録 改訂増補版（ヨーロッパ編）1992.
- 別輯18 海外所在中国絵画目録 改訂増補版（アメリカ・カナダ編 上 本文編）1994.
- 別輯19 海外所在中国絵画目録 改訂増補版（アメリカ・カナダ編 下 索引編）1994.
- 別輯20 『販書偶記』正統編合併刊行目録 1995.
- 別輯21 海外所在中国絵画目録 改訂増補版（東アジア編）1997.
- 別輯22 日本所在中国絵画目録 続編 1998.
- 別輯23 天津史文献目録 1998.
- 別輯24 東京大学東洋文化研究所仁井田文庫漢籍目録 1999.

大型コレクション目録

- Catalogue of the Arabic Manuscripts in the Daiber Collection, 1988.
- Catalogue of the Arabic Manuscripts in the Daiber Collection II, 1996.

平成12年度漢籍整理長期研修 日程・課目・講師					
日程	課目	9:00~	13:00~	講師	備考
		12:00	17:00		
6月26日(月)	開講式			原 洋之介	
	オリエンテーション			(東洋学研究情報センター長)	
				中里成章	
				(東洋学研究情報センター主任)	
6月26日(月)	漢籍について	講義	講義	山城喜憲	
				(慶應義塾大学助教授)	
6月27日(火)	経部書について	講義	講義	小島 毅	
				(東京大学助教授)	
6月28日(水)	子部書について	講義	講義	井波 陵一	
				(京都大学教授)	
6月29日(木)	集部書について	講義	講義	大塚 秀高	
				(埼玉大学教授)	
6月30日(金)	史部書について	講義	講義	平 勢 隆 郎	
				(東洋文化研究所教授)	
7月3日(月)	南アジア文献学概説	講義		永ノ尾 信 悟	
				(東洋文化研究所教授)	
		講義		高 橋 孝 信	
				(東京大学教授)	
7月3日(月)	西アジア文献学概説	講義		鎌 田 繁	
				(東洋文化研究所教授)	
			講義	鈴 木 董	
				(東洋文化研究所教授)	
7月4日(火)	漢籍目録整理法(1)	講義	実習	橋 本 秀 美	
~7日(金)	および演習			(東洋文化研究所助教授)	
7月10日(月)	所属図書館所蔵	自習	自習		
~9月25日(月)	漢籍整理及び研究				
9月26日(火)	漢籍目録整理法(2)	講義	実習	橋 本 秀 美	
~27日(水)	および演習			(東洋文化研究所助教授)	
				丘 山 新	
				(東洋文化研究所教授)	
9月28日(木)	東洋文庫について	講義	講義	中 善 寺 慎	東洋文庫見学を含む
				(東洋文庫司書)	
9月29日(金)	和刻本について	講義	講義	長 澤 孝 三	内閣文庫見学を含む
				(国立公文書館公文書研究官)	
10月2日(月)	ハングル入門	講義	講義	宮 蔭 博 史	
				(東洋学研究情報センター教授)	
10月2日(月)	東洋文化研究所 所蔵資料について		見学		
10月3日(火)	漢籍補修法	講義	講義	横 山 謙 次	
				(宮内庁書陵部修補師長)	
10月4日(水)	漢字の字形の変遷	講義	講義	持 井 康 孝	
				(金沢大学助教授)	
10月5日(木)	朝鮮本について	講義	講義	藤 本 幸 夫	
				(富山大学教授)	
10月6日(金)	新学書について	講義	講義	高見澤 磨	
				(東洋文化研究所助教授)	
10月6日(金)	修了式			原 洋之介	
				中里成章	

平成12年度漢籍整理長期研修研修員名簿

所 属 図 書 館	氏 名
北海道教育大学附属図書館	あなみず みつてる 穴 水 光 輝
東京大学文学部図書室	てしろ きぬこ 手 代 絹 子
東京大学教養学部図書館	すみくら まりこ 隅 藏 真理子
金沢大学附属図書館	もりもと しゅん 守 本 瞬
神戸大学附属図書館	ひさべ けいこ 久 部 恵 子
実践女子大学図書館	どい みちこ 土 居 道 子

受入新聞一覧

紙名	発行地	所蔵
【日本語】		
統一日報	東京	1987.1~
東洋経済日報	東京	1987.1~
中国通信	東京	1950.10~
朝鮮通信	東京	1963.4~
【中国語】		
湖南農村報	長沙	1988.11~
上海経済報（上海工業新聞より改題）	上海	1985.2~
中央日報	台北	1954.11~
中国文物報	北京	1988.1~
中国專利報	北京	1989.7~
諷刺与幽默	北京	1984.1~
明報	香港	1978.12~
【韓国語】		
中央日報（日本版）	東京	1989.11~
東亜日報（日本版）	東京	1982.11~

閱 覧 統 計

閱 覧 者 () 内外国人内数					
年度	学 内		学 外		計
	学 生	教職員等	学 生	教職員等	
H8	1171(476)	499(126)	1262(118)	1096(55)	4522(775)
H9	1724(592)	310(107)	1706(599)	1005(216)	4745(1454)
H10	2339(720)	465(208)	1779(280)	1366(201)	5949(1409)
H11	2296(658)	352(146)	1595(229)	1434(227)	5617(1254)
H12	1873(435)	465(221)	1121(118)	948(125)	4407(899)

利 用 冊 数		
	図 書	雑 誌
H8	17695	9877
H9	17901	8011
H10	27749	8545
H11	34822	10423
H12	17293	9490

複写件数 (電子複写)		
	学 内	学 外
H8	1326	1785
H9	1364	1652
H10	1564	1768
H11	1571	1745
H12	1689	1463

開館日数	
H8	226
H9	224
H10	234
H11	235
H12	238

平成12年度東洋学研究情報センター 決算

予算及び決算

(単位：千円)

予算科目	当初予算	追加配分	決算額	備考
(目) 諸謝金	771	△4	767	
(目) 職員旅費	1,740	△19	1,721	
(目) 校費	15,081	23	15,104	
計	17,592	0	17,592	

決算額内訳

(単位：千円)

予算科目	内訳	決算額	備考
(目) 諸謝金	漢籍整理講習会講師謝金 8名	465	
	ニューズレター原稿料等 4名	52	
	翻訳謝金 2名	250	
(目) 職員旅費	5センター関係	553	
	調査研究等	891	
	研修出張	277	
(目) 校費	図書費	276	内訳は次ページ参照
	新聞費	660	
	備品費	958	
	印刷費	324	
	賃金	7	
	消耗品	861	
	会議費	48	
	通信・運搬費	14	
	複写費	110	
	センタープロジェクト費	11,846	
	計	15,104	

センター校費プロジェクト決算報告（平成12年度）

件数	プロジェクト名称	担当教官	予算（千円）	決算（千円）
1	倉石文庫漢籍のデータベース作成	尾崎	1,520	1,471
2	インド・イスラーム史跡資料データベース	中里・深見	3,390	3,397
3	東アジア族譜データベース	宮嶋	3,390	3,391
4	中国絵画デジタル・アーカイヴ・プロジェクト	板倉	2,547	2,560
5	内蒙古出土学術資料のデータベース化	後藤	1,045	1,027
計			11,892	11,846